

## 「地域創造学部開設記念号」発刊に寄せて

学 長 神 木 哲 男

本学は、平成13年4月、地域創造学部を開設した。同時に校名も奈良県立商科大学から奈良県立大学に改めた。

本学の淵源は、昭和28（1953）年4月に設立された奈良県立短期大学に求められる。短期大学時代は、商経科が設けられ、勤労学生の高等教育機関として多くの人材を世に送り出してきた。平成2（1990）年4月、短期大学の歴史と実績をもとに4年制に移行し、奈良県立商科大学となり、商学部が設けられ、以後、斯学の研究と、経済界で活躍する人材の育成に努めてきた。

しかし、この間、世界においては地球温暖化や環境破壊の進行、国内では少子高齢化の到来、規制緩和の声の高まりなど、社会は大きく変化し、その中で大学が果たすべき役割も見直されるに至った。多くの大学で改革が検討され、実行に移された。本学もその例外ではありえず、新しい社会の要請に応えるための大学像が模索された。

こうした背景のもと、本学では、新たな基本理念－21世紀を迎えわが国がさらなる発展を遂げるためには、規制緩和、地方分権の拡大を基礎にして、「あたらしい地域づくり」が必須であり、そのための研究と人材育成が、わが国にとって重要課題の一つであること－を掲げて大学改革に取り組むことになった。こうして本学の「地域創造学部」が誕生した。

地域創造学部のめざすところは、人づくりを通じて地域づくりを支援すること、地域経済と観光を二本柱として地域づくりの基本とすること、開かれた大学として地域に根ざすこと、であり、そのための研究と教育をしっかりとこなうことである。

本学は、短期大学の設立から数えて平成15年には創立50周年を迎える。本学の教職員は、50年に及ぶこれまでの歴史と実績を継承しながら、あたらしい一步を踏み出そうとしている。その決意と熱意を形にするため、「地域創造学部開設記念号」を発刊することにした。私たちが初志を忘れず、つねに精進を怠らないための一里塚としたい。

大方の御叱正を仰ぎたい。